

平成21年度秋季企画展

# ふりかえれば大和川

—大和川のつけかえ工事—

柏原市立歴史資料館

やまとかわ みちか  
大和川は、身近な川としてみなさんに親しまれています。水の汚さはぜんこくでも1位、2位を争うほどですが、最近はどんどん水がきれいになり、たくさんの魚や虫もみかけられるようになってきました。

そんな大和川ですが、今のすがたになるまでには、いろいろな歴史がありました。ここでは、その中でもっとも大きなできごと、大和川のつけかえ工事を取り上げてみたいと思います。大和川の歴史をふりかえり、そして今も流れる大和川をふりかえってみましょう。



## つけかえまでの大和川

大和川は、何本かの川に分かれて、大阪平野を北または北西に流れていました。ところが、なだらかな平野を流れ、その先でもとの淀川（今の大川）に流れこんでいたため、水の流れが悪く、大雨になるとなにも洪水をおこしてきました。そして、人々は大和川を**つけかえ**てほしいと願うようになりました。つけかえを求める運動を中心になって行っていた人たちのひとりが、**中甚兵衛**です。今回の展示では、この**中甚兵衛**が残したものを中心にならべています。

しかし、つけかえを求める人たちばかりではありませんでした。つけかえに反対する人たちもたくさんいたのです。どうして反対する人たちがいたのでしょうか。展示をみながら、よく考えてみてください。

つけかえ前の大和川

なかじん べ え いっしょう  
～中甚兵衛の一生～

じん べ え かんえい  
甚兵衛は、1639年（寛永16年）に、かわちのくにかわち ぐんいまこめむら  
（今の東大阪市今米）で生まれました。14歳のときに、近  
くの吉田川（つが）の堤が切れる（こうずい）洪水（たいけん）を体験し、これが、その後の  
甚兵衛の人生に大きな影響（えいきょう）を与えたのかもしれない。そ  
して、18歳でお父さんが（な）亡くなるという悲しい体験をしま  
すが、その次の年に江戸（今の東京）へ行っています。そ  
れから34歳になるまで、16年ものあいだ甚兵衛は、江戸に  
いたようです。江戸で甚兵衛が何をしていたのかわかりま  
せんが、そのあいだに、幕府（国の役所）によって、3回  
もつけかえが考えられていますので、つけかえ運動にもか  
かわっていたのでしょうか。また、川のことや洪水のことを  
まな（学）んでいたのかもしれない。

いまこめむら じん べ え けっこん  
今米村に帰った甚兵衛は、次の年に35歳で結婚しました。  
その次の年、かわち だいこうずい  
河内では大洪水（やまとがわ）がおこり、大和川のつけかえ  
を求める運動が大きくなりました。幕府もつけかえを考  
えるのですが、そのたびにつけかえに反対する人たちがいる  
ため、つけかえは中止されました。水の流れをよくするた

めの工事はなんどか行われたのですが、洪水はなくなるど  
ころかひどくなっていきました。そして、1701年（げんろく14  
年）ごろから、またつけかえが考えられるようになり、甚  
兵衛は幕府によびだされて、どうすれば洪水がなくなるか  
という考えを伝えたようです。

そして、とうとう1703年（げんろく16年）につかえが決定  
し、次の年に工事が行われました。甚兵衛も息子（じん べ え むすこ）の九兵衛  
とともに、工事に協力しました。このとき、甚兵衛はすで  
に66歳になっていました。工事のあと、（しんでん）新田（かいほう）の開発などを  
しますが、すぐにお坊さん（ぼう）になっています。仕事を九兵衛  
にまかせてからの甚兵衛がどのような生活（くわん）をしていたのか  
もよくわかっていません。そして、1730年（しょうほう15年）に  
92歳で甚兵衛は（な）亡くなりました。そのころとしては、信じ  
られないような長生き（ちやうじゆ）でした。66歳でつけかえ工事に参加  
したくらいですから、甚兵衛は、とてもじょうぶな体と  
若々（わか）しい気持ち（きもち）を持っている人（ひと）だったのでしょ  
う。

\*年齢（ねんれい）は、かぞ（どし）え年（生まれ）（生まれたときを1歳と数える）です。



なかじん べ え ちやくよう しかがわじん ぼおり  
中甚兵衛着用の鹿革陣羽織（中九兵衛氏所蔵、N-090612）

中甚兵衛が、つけかえ工事のときに着ていたと伝えられる陣羽織です。着物の上に着る上着で、鹿の革で作られています。



つきどめ なかじん べ え どうぞう  
築留に立つ中甚兵衛の銅像



なかじん べ え しょうぞうが  
中甚兵衛肖像画（中九兵衛氏所蔵、N-090611）

中甚兵衛を描いた絵です。大和川のつけかえが行われた次の年、甚兵衛は67歳（しゅうけ）で出家（しゅうけ）しました。出家とは、僧（お坊さん）になることです。この絵は、出家（しゅうけ）後に描かれたもので、そのため頭の毛も（そ）剃（そ）っています。つけかえ前の洪水（こうずい）などで（な）亡（な）くなった人たちのために出家（しゅうけ）したのではないかと考えられています。甚兵衛は長生きし、92歳（満91歳）で（な）亡（な）くなっています。300年前としては、信じられないほどの長寿（ちやうじゆ）です。

